

市役所新庁舎が完成しました

問合せ／契約管財課 庁舎建設準備室（☎ 27-8120）



まちづくりの拠点となる庁舎へ

本館・新別館・旧別館・県別館・教育委員会棟・議会棟・委員会棟と7つに分散していた建物を一つに集約した新庁舎が10月に完成しました。旧庁舎の建物の多くが老朽化し、本館と議会棟は耐震診断において、震度6～7の地震で倒壊・崩壊する危険性が高いとの指摘を受けていましたが、平成28年5月に策定した「庁舎建設基本構想・基本計画」をもとに、市民のみなさんが利用しやすく、災害時には防災拠点としての機能を十分に発揮できる新庁舎へと建設作業を進めてきました。今後は、既存庁舎の解体工事や外構工事などを計画的に進めながら最終的な完成をめざします。



完成記念式典 市長のあいさつ(抜粋)

新庁舎が市の新たなランドマークとして、市民の皆様から永く愛されることを期待しています。また、新庁舎の基本理念である「定住満足度日本一・交流満足度日本一のまちづくり拠点施設」として、職員全員が一丸となって大切に使用し、将来の宇佐市を担う子どもたちへと引き継いでいくことをお誓い申し上げます。

新庁舎 5つの特徴をご紹介します

1. 利用しやすく分かりやすく親しみやすい庁舎

利用者の多い窓口部門は低層階に集め、誰にでも分かりやすいユニバーサルデザインを採用

受付
Information



△ゆったりスペース／

多目的トイレ



2. 機能的・効率的な庁舎

執務エリアは柱のないワンルーム型で、相談室や会議室を多く配置し業務を効率化



△プライバシーを守るよ／

相談室



3. 議会を感じられる庁舎

議場と近くなるよう傍聴スペースは高さを抑え、1階ラウンジでも議会中継を視聴可能



△スロープで傍聴席へ／

議場入口



4. 安全・安心な庁舎

高い耐震性と非常用発電機を備え、災害時には避難所や防災拠点となる危機管理センターに



△災害への備え!／

発電室



5. 環境にやさしく、景観を創造する庁舎

建物の高さを低く抑えて周辺施設と調和させ、省エネシステムの活用により環境に配慮



△ここだけ明るくなった／

人感センサー照明



※旧庁舎の窓口受付は12月27日(金)まで、1月6日(月)から新庁舎で受付が始まります。